

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	英語教育推進事業			事業番号	038-032
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7		
			有	取組	英語教育、多文化理解の促進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度			昭和 62 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			教育基本法、学習指導要領					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小中高等学校の児童生徒	対象数	単位
			59,614	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	児童生徒がネイティブ・スピーカー等との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■市立小中高等学校にネイティブ・スピーカーを配置する。 ■小学校教員及び中・高校英語教員の英語力及び英語指導力向上にかかる研修を実施する。 ■中学校においてオンライン英会話を実施する。 ■英語教育の専門性をもつ非常勤講師を小学校に配置する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	英語の授業はよくわかると答える生徒数	人 (%)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	10,730(77)	10,737(78)	11,010(79)	11,150(80)
			実績値	10,737(78)	10,532(79)		
			達成率	101%	101%		
当該指標を選定した理由		授業の理解度について、客観的に把握できるため					
目標値の設定根拠・算出方法		質問紙CBTによる堺市学習・生活状況調査（中学１・２年生）					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	英検３級程度の力を有する生徒数 (割合)	人 (%)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	3,225(50)	4,115(60)	4,657(70)	
			実績値	4,058(59)	3,966(58)		
			達成率	118%	96%		
当該指標を選定した理由		国の指標に対しての本市の取組状況が把握できるため					
目標値の設定根拠・算出方法		英語教育実施状況調査（中学３年生）					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	英語教育推進事業	事業番号	038-032
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	184,612	188,085	193,479	188,125	206,955
財源					
国支出金	1,444	1,676	3,584	3,234	4,394
府支出金					0
市債					0
その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）			189,895	170,000	0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	183,168	186,409	0	14,891	202,561
人件費 (b)	4,920	4,920	4,860	4,860	6,480
年間経費 (c)=(a)+(b)	189,532	193,005	198,339	192,985	213,435

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
			R5	決算				R5	決算		
事業費内訳	堺市英語教育に関する人材派遣業務委託料	R5	決算	157,933	933		会計年度任用職員通勤費等旅費	R5	決算	772	636
		R6	予算	155,762	155,762			R6	予算	851	631
	堺市小中学校オンライン英会話委託業務【拡充】	R5	決算	13,957	957		会計年度任用職員期末勤勉手当	R5	決算	237	177
		R6	予算	33,629	33,629			R6	予算	0	0
	委託業務事業者選定専門家等報酬費	R5	決算	87	87		研究指定校消耗品費	R5	決算	11	11
		R6	予算	404	404			R6	予算	56	56
	委託業務事業者選定委員会会場等借上料	R5	決算	66	66		研究指定校印刷製本費	R5	決算	0	0
		R6	予算	100	100			R6	予算	36	36
	会計年度任用職員報酬	R5	決算	15,062	12,024			R5	決算		
		R6	予算	16,117	11,943			R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 英検 3 級程度の力を有する生徒数	人	4,058	3,966
② 上記①にかかる年間経費	千円	193,005	188,151
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	47,562	47,441
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	■成果指標は、達成率100%を超えているものの目標値を達成することはできなかった。一人でも多くの児童生徒が英語を学ぶことに関心を持ち、豊かな英語力を身に付けることができるよう、教員の指導力向上に係る取組を推進し、NSやオンライン英会話の効果的な活用を進める必要がある。 ■活動指標は、達成率96%となった。研修等を実施したが教員の指導力向上につながらず、次年度の研修計画を見直す必要がある。 ■オンライン英会話を拡充することで、生徒一人ひとりが英語で話す機会が増加し、相手に自分の思いを伝えることができる生徒の割合が増加している。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	■ネイティブ・スピーカーの年間での配置やオンライン英会話の効果的な実施、授業改善に向けた研修の実施により外国語教育の充実が図られることで、児童生徒に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や語学力が養われることから、第3期未来をつくる堺教育プランの基本施策2「グローバルに活躍できる力の育成」に寄与している。 ■早期より英語に慣れ親しみ、外国語でのコミュニケーション能力を育むことで、本市児童生徒の総合的な学力向上の育成に寄与している。
----	--